

高専の沿革

高専DCON2021 観戦記

- 1951年 政令改正諮問委員会「職業教育に重点を置いた学校開設の提案」を答申
- 54年 中央教育審議会「新しい学校組織の創設」を答申
- 56年 日本経営者団体連盟「5年制専門大学の新設」を要求
- 57年 「新長期経済計画」を閣議決定。理工系人材の増員を盛り込む
- 58年 「専科大学」創設を目的とする学校教育法改正案を国会に提出
- 61年 高等専門学校制度を創設する学校教育法が公布
- 62年 国立高専12校（函館、旭川、平、群馬、長野、沼津、鈴鹿、明石、宇部、高松、新居浜、佐世保）、公立高専2校（都立航空、都立工業）、私立高専5校（聖橋工業、金沢工業、熊野工業、大阪工業、高知工業）が開校
- 63年 国立高専12校（八戸、宮城、鶴岡、長野、岐阜、豊田、津山、阿南、高知、有明、大分、鹿児島）、公立高専2校（大阪府立工業、神戸市立六甲工業）、私立高専2校（育英、幾徳工業）が開校
- 64年 国立高専12校（苫小牧、一関、秋田、茨城、富山、奈良、和歌山、米子、松江、呉、久留米、都城）が開校
- 65年 国立高専7校（釧路、小山、東京、石川、福井、舞鶴、北九州）、私立高専1校（桐蔭学園工業）が開校
- 66年 静岡大学が編入制度導入、国立高専全国体育大会開催
- 67年 国立商船高専5校（富山、鳥羽、広島、大島、弓削）、国立高専1校（木更津）が開校
- 69年 国立電波高専3校（仙台、詫間、熊本）が開校
- 72年 高専創設10周年
- 74年 国立高専2校（八代、徳山）が開校、工業高校から高専への編入始まる
- 78年 技術科学大学2校（長岡、豊橋）が開校、幾徳工業が大学に移行
- 79年 大阪工業、聖橋工業が大学に移行
- 82年 高専創設20周年
- 83年 国立高専、留学生受け入れ
- 86年 普通高校から高専への編入始まる
- 88年 アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト（通称高専ロボコン）開催
- 90年 全国高専プログラミングコンテスト（通称高専プロコン）開催
- 91年 専攻科設置、卒業生に準学士付与、公立高専1校（札幌市立）が開校、桐蔭学園工業が大学に移行
- 92年 高専創設30周年
- 2002年 高専創設40周年、国立高専1校（沖縄）が開校
- 03年 全国高専テクノフォーラム開催
- 04年 国立高等専門学校機構設立、全国高等専門学校デザインコンペティション開催
- 05年 都立航空高専と都立工業高専が都立産業技術高専に移行
- 07年 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト開催
- 09年 国立高専4校高度化再編（宮城高専と仙台電波高専が統合し仙台高専、富山高専と富山商船高専が統合し富山高専、高松高専と詫間電波高専が統合して香川高専、八代高専と熊本電波高専が統合して熊本高専に）
- 10年 全国高専教育フォーラム開催
- 12年 高専創設50周年
- 14年 モンゴルが高専開校
- 16年 日本型高専教育の海外拠点としてモンゴルにリエゾンオフィスを開所、全国高専同窓会連合会発足
- 20年 全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト（通称高専DCON）開催、インフラマネジメントテクノロジーコンテスト（通称インフラテクコン）開催
- 22年 高専創設60周年へ
- 23年 神山まるごと高専開校予定